

令和6年 稲作情報 vol.1

※この資料は、令和6年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

※この資料は、県ホームページでも公開しております。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyohou.html>



南会津農林事務所農業振興普及部 Tel 0241-62-5262

南郷普及所 Tel 0241-72-2243

J A会津よつば田島営農経済センター Tel 0241-63-1172

南郷営農経済センター Tel 0241-72-2554

下郷資材センター Tel 0241-69-1088

只見資材センター Tel 0241-84-2214

◎ 令和6年産米の育苗作業が始まります。
健康な苗作りに取り組みましょう。

<作業スケジュール(参考)>

	3月		4月		
	中	下	上	中	下
ほ場準備			耕起		
種子の準備		塩水選			
		種子消毒			
浸種			浸種		
催芽				催芽	
播種					播種
苗床			苗床準備		

※ 作柄判定ほ（田島・ひとめぼれ中苗）の播種期平年値（4月20日）から例示。

<ほ場準備>

1 耕起(春耕) 秋耕していない場合

- ・ 稲わら等未熟な有機物はすき込んでから分解するまで時間がかかります。
⇒分解が不十分なまま入水すると、移植後にガスがわきやすくなります。
可能な限り早い時期に耕起し、すき込みを行いましょう。

<育苗>

○ 作業の前に **病害リスクの少ない清潔な環境づくり**

- ・作業場や育苗施設周辺にある稲わらや籾殻、ほこりには病原菌が付着している可能性があるため、作業前にしっかりと清掃しましょう。
- ・種子の保管場所は風通しが良い日陰とし、直接地面に置かないようにしましょう。

1 種子の準備

(1) 塩水選 (消毒済種子でも必ず実施しましょう!)

- ・発芽力の高い種子を選ぶために必要です。塩水を作る時は、比重計を使い、比重をうるち米の場合 1.13 (食塩の場合 2.1 kg/10ℓ、硫安の場合 2.7 kg/10ℓ)、もち米の場合 1.10 (食塩の場合 1.6 kg/10ℓ、硫安の場合 2.0 kg/10ℓ)とします。
- ・薬剤を洗い流さないよう塩水選後の水洗いは、きれいな水で数回すすぐ程度としましょう。

(2) 種子消毒 (未消毒種子を使用する場合)

(対象病害名：いもち病、苗立枯細菌病、ばか苗病、もみ枯細菌病)

浸漬法	テクリードCフロアブル (200倍液、24時間浸漬) ⇒浸漬後風乾せず浸種へ移行 ※種子と処理液の容量比は1:1以上としてください。
	温湯種子消毒法 ① 60℃の湯に <u>正確に</u> 10分間浸漬 ・温度が高いと発芽不良、低いと防除効果が不足するため、正確に湯温を維持する ・浸種直後に袋を揺りうごかす ② 処理終了と同時に流水等で速やかに粳温度を下げ、浸種に移行する。

2 浸種

酸素の欠乏に注意しながら十分吸水させましょう。

- ・水量は種子量の2倍以上、浸漬水温は10～15℃とし、時間をかけて吸水させましょう。
- ・浸漬時間は積算温度で120℃(浸漬水温×日数)を目安に行いましょう。
- ・酸素の欠乏を防止するため、定期的に水を交換しましょう。

種子は袋にぎっしり詰めすぎない
種子袋は平らに、水はたっぷり余裕をもって



3 催芽 播種前にハト胸の状態まで均一に芽出し！

- ・育苗器や催芽器の温度設定は28℃にします。
(30℃以上はもみ枯細菌病が発生しやすくなります)
- ・育苗器内では種子の入ったもみ袋は薄く均一に広げます。
- ・育苗器内の温度は温度計で確認しましょう。



4 播種 苗の種類と育苗日数は、播種量で決まります。

- ・苗の種類に見合った播種量を厳守し、均一に播種することが良い苗づくりのポイントです。
- ・播種日は育苗日数を考慮し、田植え日から逆算して決めましょう。

5 播種量と苗の生育目安について(参考)

苗の種類	播種量 (乾粃 g/箱)	育苗日数 (日)	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	箱数 (箱/10a)
密播苗	250~300	15~20	10~15	2.0 前後	7~14
稚苗	150~180	20~25	10~13	2.2~2.5	18~20
中苗	100~120	30~35	13~15	3.0~3.9	26~30

- ・灌水に合わせて苗立枯病の薬剤防除を行いましょう。

〈使用薬剤例〉

薬剤名	適用病害	希釈倍数・ 使用量	使用 方法	使用 時期	本剤の 使用回数	散布液量
ナエファイン フロアブル	苗立枯病 (ピシウム菌、リゾ ープス菌、 フザリウム菌)	2000 倍	土壌 灌注	播種時	2 回以内	育苗箱 (30 × 60 × 3cm、使用 土壌約 5L) 1 箱あたり 0.5~1L
ダコニール 1000	苗立枯病 (リゾ ープス菌)	500~1000 倍	土壌 灌注	播種時 ~ 緑化期	2 回以内	育苗箱 (30 × 60 × 3cm、使用 土壌約 5L) 1 箱あたり 500ml

6 出芽の温度管理

(1) 育苗器を利用する場合

- ・ 温度は28℃に設定。2～3日が目安

(2) ハウス内に平置きする場合

- ・ ハウス内の温度は28℃が目安です。低温時は保温に努めます。
- ・ 例年苗ヤケが発生しています。苗ヤケ防止のため、30℃を超えないよう適宜換気を行い、被覆日数は5～7日間を目安としましょう。
- ・ 出芽率80～90%、芽の長さ5～10mmを目安として緑化に移りましょう。

※ 緑化の温度管理

- ・ 出芽後、緑化の際は日中20～25℃、夜間12～15℃で管理し、ハウス内の温度が28℃以上にならないよう管理しましょう。

※ 密播苗について

- ・ 密播苗は育苗期間が短く育苗箱数の削減が期待できます。しかし、葉齡2.3を越えると、苗の生育が停滞し、移植後に活着しにくくなるので注意が必要です。

次回発行は4月上旬(育苗(播種～硬化について))を予定